

2024
MIYAGI
RECRUIT
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

総合土木
(農業土木分野)

総合土木（農業土木分野）の業務紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

◆ 農業土木とは？

農業を営むための**土木** = **生きる（食料を得る）ための土木(技術)**

用水を確保する、農地を整備する、農村を住みやすくする等の事業を総称して

農業農村整備事業（NN事業）

◆ 土木職との違い

土木職：広く一般公共に関わる社会資本を整備

農業土木職：農業者からの申請と同意により、農地や農業・農村に関わる施設等を整備

業務紹介

◆ 概要

農業農村整備事業の推進…農業・農村の持続的な発展を目指す
農地・農業用施設等の整備、災害復旧
農村の振興と魅力的な地域づくりに係る多様な業務

◆ 勤務先

県庁：3課1室（農村振興課、農村整備課、農山漁村なりわい課、農村防災対策室）

主な地方機関：8公所（大河原、仙台、大崎、栗原、石巻、
登米、気仙沼、大衡村）

自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県仙台市
- ◆ 入庁までの経歴 : R5.3 岩手大学卒業
R5.4 入庁



現在の所属 (現在入庁2年目)

R5.4～ **農政部 農村振興課 企画調整班**

農業農村整備事業の企画・調整、広報・広聴など

- ・ 国や都道府県等関係機関からの調査依頼に対応・庁内各所属との調整
- ・ 事業紹介パンフレットの作成、PRイベントの企画
- ・ 県内の小中学校・地域団体で出前講座を実施



志望動機

◆ なぜ公務員？

- ◆ 大学で専攻していた農業土木を活かせる仕事がしたい
- ◆ プライベートと両立させながら仕事を続けたい

◆ なぜ宮城県庁？

- ◆ 地元以外の市町村の土地や風土も知りたい
- ◆ 宮城県は交通の便が整っており、通勤条件に恵まれている
(条件によっては新幹線での通勤可 (手当あり))

現在の担当業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイ。

広報広聴活動

(農業農村整備事業の役割や重要性をPR)

PRイベントの企画、広報誌の作成、
小中学校向けに出前講座の実施



① 仙台七夕まつりににおけるPR活動 ② 広報誌によるPR活動

◆ 事業の役割や重要性を発信するため、クイズコーナー
やくじ引きコーナーなどを設置



◆ 宮城県各管内でのイベントや農業・農村の魅力を発信



現在の担当業務の紹介

◆ 小中学校・地域団体に向けた出前講座（田んぼダム of 仕組み・役割の説明）



- ・田んぼダム普及・拡大に向け、小中学校で出前授業
- ・スライドや手作りの模型による実験で、仕組みや効果を説明

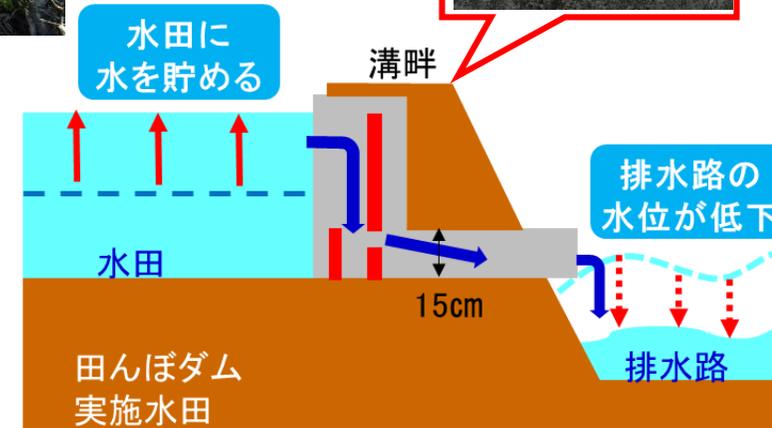
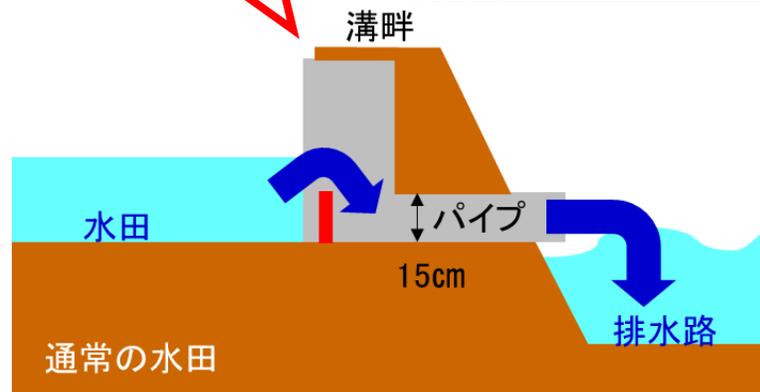
◆ 田んぼダムとは？

水田の持つ雨水貯留能力を最大限活用し洪水被害を軽減する取組

断面図



実際の落水工の写真



仕事のやりがい

みやぎの未来を、クリエイト。

- ◆七夕まつりで出展したイベントでは子ども向けのクイズコーナーということで、試行錯誤して楽しく取り組んでもらえるよう工夫
来場者から「勉強になった」「これからも情報発信をしてほしい」など好反応
= やって良かったなと思った瞬間

お米の事を、クイズを通していろいろ知れたので、おもしろかったです

田んぼには食べ物を作ることで以外にも役立っていることがあってびっくりしました。

農業に関する知識をクイズという形で説明してくれるのがとても良いと思いました。これからもこのような情報発信を続けてほしいです。

毎日、食べているお米、
知らない事か沢山ありました。
田んぼは自然とも関連していて、
一生、大切なものだと感じました。
クイズもやって良かったですね！

子供達が楽しく学べて良いと思います
大人でも知らないことが多く楽しく学ぶことができた
ありがとうございました。

地方機関の業務紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

整備前

整備後



農業土木の代名詞 ほ場整備工事 監督員

農地の区画を整理・拡大

- ・大型機械導入で生産性UP
- ・まとまった農地を効率よく営農
- ・大規模経営も可能に

監督員は**工事の積算、進捗・品質管理、各種協議等**を行う。
限られた予算でより使いやすい農地を目指し農家や関係機関と相談しながら**現場をカスタマイズ**していく！

仕事のやりがい

◆ 農地や施設（ハード）の整備：“目に見える成果”がやりがいに直結



◆ 個人的には…

課題解決のために土地改良区や市役所（他官庁）との打合せ、農家や住民の方との話し合い、業者さんとの調整などを繰り返し行う
→関係者や地域のことが段々分かってきて、**その地域に馴染んでいく、担当者として頼りにされるようになる** = “目に見えない”やりがい

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

◆ 設計・工事監督など、農業土木の分野に特化した業務

◆ 入庁してみたら・・・

◆ 設計・工事監督はもちろんのこと、事業の計画、会議の調整、ホームページ・広報誌・動画の制作、説明会・ワークショップ・イベントの開催、小・中学校出前授業etc・・・あらゆる業務がある

◆ 他部局や関係機関との調整が多い

職場の雰囲気

- ◆ 多くは3～6名程度の班体制
- ◆ メンター制もあり上司や同僚に相談しやすい
- ◆ 異動先が限定的で職員同士の繋がりが強い
- ◆ 仕事以外でも交流の機会が多い



▲スキー＆スノーボード好きの農業土木職員たちによる「NNスキー会」の写真

宮城県職員の魅力

- ◆ 自分のアイデアを直接事業に活かせる
- ◆ 様々な人と関わることができる
- ◆ 多種多様な業務があるので、やりがいを見つけやすく、チャレンジできる
- ◆ **何とんでも宮城が暮らしやすい。**ヒト・モノの集まる仙台を中心に、海も山も近く、お米をはじめとする農・海産物がおいしい。東北各県にもアクセスしやすい
- ◆ そんな宮城の風土を支える仕事

先輩職員からのメッセージ

みやぎの未来を、クリエイ。

今ある学生生活を存分に楽しんでください。

何かに打ち込んだり、色々な人と関わって得た知識や経験は、社会に出てから必ず生きてくると思います。

ぜひとも皆さんの**アイデアと行動**で、みやぎを盛り上げてください。お待ちしております。

農村振興課公式Xやってるので →
ぜひフォローお願いします！

